

令和7年度全国学力・学習状況調査の目的及び調査内容

本調査は、文部科学省が学校の設置者（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒

3 調査事項

（1）教科に関する調査

小・中学校ともに、国語、算数・数学及び理科

（2）質問調査

児童生徒：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

学 校：学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

（3）調査時間

〔小学校〕

国 語	算 数	理 科	児童質問紙
4 5 分	4 5 分	4 5 分	2 0 分程度

〔中学校〕

国 語	数 学	理 科	生徒質問紙
5 0 分	5 0 分	5 0 分	2 5 分程度

令和7年度全国学力・学習状況調査結果

1 全国学力・学習状況調査結果

(1) 学力状況

〔小学校〕 ※正答率：総問題数に対する正答した問題数の割合

教科	正答率	よかったところ	課題となったところ
国語	全国より高い	【言葉】 ・漢字を文の中で正しく使うこと。 【話すこと・聞くこと】 ・自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。	【読むこと】 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
算数	全国よりやや高い	【数と計算】 ・異分母分数の加法の計算をすること。 【図形】 ・角の大きさについて理解すること。	【数と計算】 ・分数を単位分数の幾つ分として捉えること。 【変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。
理科	全国よりやや高い	【地球】 ・実験結果を基に考察し、その理由を表現すること。	【地球】 ・問題を解決するための実験方法を発想し、条件を正しく設定しながら調べること。

〔中学校〕

教科	正答率	よかったところ	課題となったところ
国語	全国より高い	【話すこと・聞くこと】 ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	【書くこと】 ・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。
数学	全国より高い	【図形】 ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。	【図形】 ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。
理科	全国よりやや高い	【地球】 ・実験結果を基に考察し、その理由を表現すること。	【地球】 ・問題を解決するための実験方法を発想し、条件を正しく設定しながら調べること。

(2) 学習状況等

〔小学校〕

項目	児童生徒の状況	
	小学校	中学校
□主体的に学ぶ態度 ・児童生徒が授業中に進んで学習に取り組もうとしているかの状況	全国と同等	全国より高い
□個別最適な学び ・児童生徒が授業中これまで身に付けた知識や技能、考え方などを駆使し、自分に合った方法で学ぼうとしているかの状況	全国と同等	全国より高い
□協働的な学び ・児童生徒が尊重し合い、協働して考えを深めたり広げたりしながらよりよく課題を解決しようとしているかの状況	全国よりやや高い	全国より高い
□ICTの活用技能 ・児童生徒がタブレット端末等を使って、文章を作成できる、情報を収集・整理できる、プレゼンテーションを作成できる状況	全国より高い	全国と同等
□家庭学習時間 ・児童生徒が平日に家庭で1時間以上学習している状況（学習塾等で学習する時間を含む）	全国より高い	全国と同等
□基本的生活習慣 ・毎日朝食をとっているかの状況 ・定時に就寝しているかの状況 ・定時に起床しているかの状況	全国より低い 全国よりやや低い 全国と同等	全国と同等 全国より高い 全国よりやや高い
□自尊感情 ・児童生徒が自分にはよいところがあると思っているかの状況	全国と同等	全国と同等
□将来への展望 ・児童生徒が将来の夢や目標をもっているかの状況	全国より高い	全国より高い

2 全国学力・学習状況調査結果に基づく児童生徒の状況

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査結果から、小学校の国語、算数、理科については、いずれの教科も全国の平均正答率よりも「やや高い」、「高い」状況にあります。また、中学校の国語、数学、理科については、いずれの教科も全国の平均正答率よりも「やや高い」、「高い」状況にあります。

- 児童生徒の学習状況については、「主体的に学ぶ態度」、「個別最適な学び」、「協働的な学び」など、授業における学びの様子は、全国の児童生徒と比較しても、同等若しくは全国よりも高く、良好な状況にあります。さらに、学習内容の定着を図る家庭学習の時間についても全国の児童生徒と同等若しくは高い状況にあります。一方で、基本的な生活習慣の要因となる「早寝・早起き・朝ごはん」については、小学校で全国の児童よりも、やや低い、低い状況で課題が見られます。
- 「自分によいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合は全国と同等若しくは全国よりも高い状況にあり、自尊感情が高く、将来への展望を持って学校生活を送っていることが窺えます。

今後の取組の方向性

1 授業等の行い方

児童生徒が、学ぶことへの関心を持ち、自分に合った方法で課題の解決案を考え、それを友達と協働してより良い解へと高めていくような学習を進めることができるよう、小・中学校が連携して指導方法の改善を図ります。

児童生徒の学習への意欲が高まったり、学びが深まったり広がったりできるよう、ＩＣＴ機器の効果的な活用に努めます。

児童生徒個々に応じた学習内容の定着を図ることができるよう、習熟度別学習の充実を図るとともに、意図的・計画的に反復学習の時間を設けます。

2 家庭学習等の充実

児童生徒の家庭学習が充実するよう、ＩＣＴ機器を活用した家庭学習を推進します。

家庭との連携を図り、児童生徒が計画的に家庭学習を行うことができるよう、定期的に家庭学習強化週間等を設けます。

「放課後塾」を開催し、児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を促進します。

3 よりよい学校・学級集団づくり

よりよい学校・学級集団づくりのため、児童会・生徒会活動、学級活動を核とした児童生徒の自発的・自治的な活動の推進を図ります。

4 家庭と連携した規範意識の高揚

スマートフォンやＳＮＳの使用等、情報モラル高揚のため、家庭と連携した情報モラル研修会等の開催に努めます。